



第57回全日本シニアボウリング選手権大会

主 催：公益財団法人 JAPAN BOWLING

協 力：日本ボウリング機構（JBO）

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

主管運営：愛知県ボウリング連盟

開催月日：2024年6月21日（金）～23日（日）（3日間）

会 場：稲沢グランドボウル

公競No.122-64号 BW116レーン

〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1



目 次

ご 挨拶 【公益財団法人JAPAN BOWLING 会長】	2
大会役員名簿	3
競技役員名簿	4
審判員名簿	5
開催要項	6～9
大会日程	10
競技規定・選手権競技会規定（抜粋）	11
表彰対象者一覧表	12
監督氏名および参加者数	13
参加者名簿	14～18
栄光の記録	19～29
第56回全日本シニアボウリング選手権大会 記録	30

ご挨拶



第 57 回全日本シニア選手権大会 会長
公益財団法人 JAPAN BOWLING 会長
丹羽 秀 樹

±

第 57 回全日本シニアボウリング選手権大会が、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団のご協力を賜り、盛大に開催できますことに心より御礼と感謝を申し上げます。

本年 4 月に全日本ボウリング協会は「公益財団法人 JAPAN BOWLING」と名称を変え、すべての人にボウリングの魅力を伝えることを使命として再始動しました。そして 6 月には役員改選により、私丹羽秀樹は会長を仰せつかりました。日本のボウリングの新時代を切り開くべく、役員一同事業に邁進してまいりますので、会員の皆様にもご理解とご協力をお願い申し上げます。

この全日本シニア選手権大会は、50 歳以上のボウラーが腕前を競い合う場として、57 回目を迎えました。参加者数は年々増加の一途をたどっており、本年も 750 名を超える選手がエントリーされました。

本大会に参加されている方々は、お仕事と両立されている方、趣味として楽しむ方など、ボウリングとの向き合い方も多様です。自己のベストを尽くして大会に臨む、その共通点を通じて、リスペクトし合い心に残る体験を得ていただければ幸いです。

結びに、本大会にご協力下さいました関係各位、会場の稲沢グランドボウル様、主管愛知県ボウリング連盟に厚く御礼を申し上げます。

第57回全日本シニアボウリング選手権大会

大会役員名簿

大会会長	丹羽秀樹	(公財) JAPAN BOWLING 会長 愛知県ボウリング連盟 会長
大会副会長	西林康憲	(公財) JAPAN BOWLING 副会長
大会委員長	齋藤良太郎	(公財) JAPAN BOWLING 専務理事・事務局長
大会副委員長 大会総務委員長	松下秀雄	(公財) JAPAN BOWLING 常務理事 総務委員長
大会副委員長 大会競技委員長	柳川弘行	(公財) JAPAN BOWLING 常務理事 競技委員長
大会副委員長 大会審判委員長	伊藤一明	(公財) JAPAN BOWLING 競技副委員長 愛知県ボウリング連盟 理事長
大会広報委員長	川崎治夫	(公財) JAPAN BOWLING 総務副委員長
大会認証委員長	四宮和裕	(公財) JAPAN BOWLING 指導委員長
大会資格審査委員	高橋尚代	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	上田暢子	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	野口由美	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	根田光朗	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	森永耕造	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	小林 穰	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	川上秀樹	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	飯島祥行	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	山下知且	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	亀島愛永	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	村松加王里	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	笹川麻利恵	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	中塩博美	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	石嶺可奈子	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	吉田由美子	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	川口美永	(公財) JAPAN BOWLING 理事
"	由中信安	(公財) JAPAN BOWLING 理事
大会事務局	鈴木信吾	(公財) JAPAN BOWLING 事務局
"	田中雄也	(公財) JAPAN BOWLING 事務局

競 技 役 員 名 簿

大会競技役員長	伊 藤 一 明	愛知県ボウリング連盟	理事長
大会総務部長	一 江 拓 生	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会総務副部長	菅 啓 司	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	濱 元 小夜子	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会競技部長	天 野 政 幸	愛知県ボウリング連盟	副理事長
大会競技副部長	三 浦 浩	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	早 川 由紀子	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	竹 内 由 樹	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会審判部長	濱 元 小夜子	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会審判副部長	山 口 勝 也	愛知県ボウリング連盟	副理事長
〃	皆 越 英 次	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	林 伸 治	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会認証部長	鷹 羽 孝	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会認証副部長	酒 井 孝 司	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	淀 川 清 登	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	熊 谷 知 久	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会記録部長	真 鍋 洋	愛知県ボウリング連盟	副理事長
大会記録副部長	星 野 高 志	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	中 野 伸 彦	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会褒賞部長	小 島 真	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会褒賞副部長	赤 尾 昇 一	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	佐 伯 典 代	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	中 西 晴 子	愛知県ボウリング連盟	理 事
〃	林 久 美 子	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会広報部長	水 谷 和 彦	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会広報副部長	薄 窪 夢 叶	愛知県ボウリング連盟	理 事
大会事務局	野 馬 永 美	愛知県ボウリング連盟	事務局

大会審判員名簿

第1種公認審判員

鈴木千恵彦	皆越 英次	伊藤 一明	小柳 靖士	濱元小夜子	菅 啓司
林 伸治	和田 朋之	中西 貴久	一江 拓生	五島 利夫	山口 勝也

第2種公認審判員

野馬 永美	天野 政幸	安立 禎顕	古館 安樹	真鍋 洋	園田 陽久
真鍋 洋	夏目 美和	夏目 佳功	峯 健太郎	鷹羽 孝	酒井 孝司
早川 知里	早川由紀子	中西 晴子	西村 由彦	中野 伸彦	三浦 浩

第3種公認審判員

今村 政昭	梶原 義浩	赤尾 昇一	田村 浩也	野々山寿光	山本 一俊
下澤 敏伯	高橋 克明	熊谷 知久	伊藤 佑樹	大橋 信子	高須 覚
林 剛志	山崎 政治	横山 智	淀川 清登	谷野 久	水谷 和彦
小島 真	戎 直和	中島 淳二	平岩 海斗	薄窪 夢叶	中川 佑斗
伊藤 広陽	安田 昂平	星野 高志	徳永 幸一	今井 佳子	早川 美加
一佛 朋亮	下松 千夏	林 久美子	澤崎 寧	佐伯 典代	竹内 由樹
山内 博之	花井 千久佐	彦坂 凜	三谷 優斗	酒井 愛	小島 楓
中島 隆雄					

第57回全日本シニアボウリング選手権大会

開催要項

主催：公益財団法人 JAPAN BOWLING

協力：日本ボウリング機構（JBO）、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

主管運営：愛知県ボウリング連盟

開催月日：2024年6月21日（金）～23日（日）（3日間）

会場：稲沢グランドボウル 公競No.122-64号 BW116レーン
〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町80-1 TEL 0587-21-2131

競技種目：〔シニア部門・ハイシニア部門〕

男子・女子別 個人戦・2人チーム戦・選手権者決定戦

〔マスターズシニア部門〕

男子・女子別 個人戦

年齢区分：2024年4月1日現在 シニア部門 満50歳～満64歳までの者
ハイシニア部門 満65歳以上の者
マスターズシニア部門 満75歳以上の者

※75歳以上の選手でもハイシニア部門での参加が可能。

競技方式：デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。

競技方法：1）男女シニア・ハイシニア部門は、個人戦・2人チーム戦ともに、それぞれ6ゲームの競技を行い（1ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点により各種目の順位を決定する。

2）選手権者決定戦は、個人戦、2人チーム戦の2種目（12ゲーム）の個人総得点の上位より男子シニア30名、男子ハイシニア26名、女子シニア16名、女子ハイシニア14名（参加人数により変更する場合がある）を決勝出場者とする。

決勝は更に3ゲームの競技を行い（1ゲーム毎にレーン移動）、合計15ゲームの総得点により、各部門の選手権者並びに順位を決定する。

3）男女マスターズシニア部門は、予選9ゲームの競技を行い（1ゲーム毎にレーン移動）、その合計得点の上位より、男子12名、女子10名（参加人数により変更する場合がある）を決勝出場者とする。

決勝は更に3ゲームの競技を行い、合計12ゲームの総得点により男子・女子選手権者並びに順位を決定する。

ハンディキャップ：1ゲームにつき、下記のハンディキャップを与える。

部門	年齢	H/C	年齢	H/C
男・女シニア	50～59歳	0点	60～64歳	5点
男・女ハイシニア	65～69歳	0点	70歳以上	5点
男・女マスターズシニア	75～79歳	0点		
	80歳以上	5歳につき5点を加算する		

年齢基準は、2024年4月1日現在の満年齢とする。

競技規程：JB選手権競技会規程並びにJBボウリング競技規則を適用する。

同位の裁定：各種目において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。
ただし、選手権者決定戦及びマスターズ部門決勝において1位と2位が同点の場合は9・10フレームの決定戦により順位を決定する。

参加資格：2024年度のJB登録会員（個人正会員、実業団会員）で、各連盟に所属する満50歳以上（2024年4月1日現在）で、各連盟から選出された代表選手であること。（ただし、個人普通会員は、個人正会員に登録変更すれば参加できる。）
※シニア部門に1名不足が生じた場合、高年齢部門（ハイシニアまたはマスターズシニア）の選手が参加することを特例として認める。ただし、その特例は各連盟1チームのみとし、その場合の選手のハンディキャップは5点とする。

参加割当：各部門とも、事前の参加希望人数調査に基づき別紙のとおり割り当てる。
但し、定員に達しない場合はエントリー順に追加を認める。

費用：施設使用料 1) 男女シニア、男女ハイシニアの各部門 1名 14,500円
2) 男女マスターズシニア部門 1名 12,800円

褒賞：1) 個人戦（6部門） 優勝～第8位
2) 2人チーム戦（4部門） 優勝～第8位
3) 選手権者決定戦（4部門） 優勝～第8位
4) 加盟団体表彰 各部門優勝者が所属する加盟団体
5) 選手権者決定戦出場賞 選手権者決定戦出場者及びマスターズシニア決勝出場者全員
6) 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞（各部門 男・女別 スクラッチ）
注）ただし、選手権者決定戦並びに決勝戦は対象としない。
7) 最高年齢者特別表彰 男・女 各1名

申込締切：2024年5月21日（火）期限厳守のこと

申込方法：別紙所定の申込用紙（Excel ファイル）に必要事項を記入し、各連盟が取りまとめてEmailにてファイルを下記へ送信すること。施設使用料は期日までに下記へ送金すること。

愛知県ボウリング連盟 〒453-0044 名古屋市中村区鳥居通4-21

TEL052(433)9910 FAX052(433)9911

Email: taikai@aichi-bowling.com

送金先：別紙、案内を参照のこと。送金締切日は2024年5月23日（木）厳守。

☆ 注意事項 ☆

- 1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害や感染症の流行等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
- 2) 参加選手は各自の責任で健康診断を受け、健康であることを証明された者が参加すること。
- 3) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証（原本または写し）を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
- 4) 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- 5) 大会使用ボールの登録は、JBのホームページより事前にダウンロードをして必要事項を記入並びに1枚持参の上、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から（特別会員は4個目から）1個につき500円の登録料を納めるものとし、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する（公認ゲーム600ゲーム以上達成者は、7個目まで特別保管料を免除し、8個目から1個につき1,000円を追加徴収する）。また、ボールの追加登録は原則として認めない。
- 6) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。
シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。
登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- 7) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円とし大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- 8) 大会に使用するボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
- 9) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。
申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること
- 10) 会場にボールバック等を送る場合は6月19日午後以降の到着で送ること。
会場からボールバック等を送る場合はヤマト運輸の着払いとなる。
- 11) 本大会の映像・写真・記事・記録等における個人情報（氏名・年齢・性別・記録・肖像等）は、広報の目的で使用・公開する。また報道機関に提供することがある。その掲載権・使用权は主催者に属する。
- 12) 本大会開催中、会場内で撮影した写真・映像等は、映る人物の個人情報（肖像を含む）およびプライバシーに配慮し、個人使用の範囲内に限ることとする。報道目的、企業活動での撮影および公開は、必ず主催者の許可を得ること。なお本大会ではTV放映等の事情により、主催者が会場内での撮影行為を禁止する場合がある。

※ドーピング検査について※

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

第57回全日本シニアボウリング選手権大会
大会日程

【大会前日 6月20日(木)】

13:00~19:00	全部門	ボール登録
-------------	-----	-------

【大会1日目 6月21日(金)】

8:00~ 9:30	ハイシニア男子	ボール登録・競技受付	
8:40~ 9:10	監督会議		
9:35~10:00	開 会 式 (ハイシニア男子出場回数表彰)		
10:20~13:50	ハイシニア男子	2人チーム戦	前半戦・後半戦 Box4人
12:40~14:10	マスターズシニア男女 シニア女子	ボール登録・競技受付	
14:20~14:30	ハイシニア男子	中間表彰	2人チーム戦
14:40~18:10	マスターズシニア男女	個人戦	1回戦・2回戦 Box4人
	シニア女子	2人チーム戦	前半戦・後半戦 Box4人
16:20~17:50	シニア男子・ハイシニア女子	ボール登録・競技受付	
18:20~20:50	シニア男子・ハイシニア女子	2人チーム戦	前半戦 Box6人

【大会2日目 6月22日(土)】

7:00~ 7:30	マスターズシニア男女 シニア女子	競技受付	
7:45~ 8:00	マスターズシニア男女	出場回数表彰&最高年齢者特別表彰	
	シニア女子	出場回数表彰	
8:00~ 9:40	マスターズシニア男女	個人戦	3回戦 Box4人
	シニア女子	個人戦	前半戦 Box4人
10:00~10:15	マスターズシニア男女	中間表彰	個人H. G/H. S
	シニア女子		2人チーム戦
9:25~ 9:55	ハイシニア男子	競技受付	
10:25~12:05	ハイシニア男子	個人戦	前半戦 Box4人
11:15~11:45	シニア男子・ハイシニア女子	競技受付	
12:15~14:45	シニア男子・ハイシニア女子	2人チーム戦	後半戦 Box6人
13:55~14:25	シニア女子	競技受付	
14:55~16:15	シニア女子	個人戦	後半戦 Box3人
15:25~15:55	シニア男子・ハイシニア女子	競技受付	
16:25~18:55	シニア男子・ハイシニア女子	個人戦	前半戦 Box6人
18:05~18:35	ハイシニア男子	競技受付	
19:05~20:45	ハイシニア男子	個人戦	後半戦 Box4人

【大会3日目 6月23日(日)】

8:00~ 8:30	シニア男子・ハイシニア女子	競技受付	
8:45~ 9:00	シニア男子・ハイシニア女子	出場回数表彰	
9:00~11:30	シニア男子・ハイシニア女子	個人戦	後半戦 Box6人
	シニア女子	個人H. G/H. S・個人戦	
12:00~12:45	ハイシニア男子	中間表彰	個人H. G/H. S・個人戦
	シニア男子・ハイシニア女子		個人H. G/H. S・2人チーム戦・個人戦
12:45~13:05	全部門	選手権者決定戦・選手受付	
13:35~14:25	全部門	選手権者決定戦	
14:55~15:35	表彰式・閉会式		

競技規則 (抜粋)

第 133 条 (同位ピンの裁定)

競技の勝位の決定について、個人又はチーム戦の得点が同点の場合、次のとおり裁定する。

- (1) シリーズにおいて同点の場合は、最高ゲームと最低ゲームの差の最も少ないものを上位とする。
- (2) 2 シリーズ以上の競技において同点の場合、最高シリーズと最低シリーズの差の最も少ないものを上位とする。
- (3) 1 ゲームのスコアが同点の場合及び第 1 号の得点差が同じ場合は、個人又はチーム戦で第 10 フレームまでを含めたストライク数の多いものを上位とする。
- (4) さらにストライク数が同じ場合は、スペア数の多いものを上位とする。
- (5) スペア数が同じ場合は、ともに勝者とするか、又はさらに 1 ゲームの決勝戦を行い、勝者を決定する。ただし、競技要項にほかの方法で規定している場合は、その規定による。

第 134 条 (スローボウリングの禁止)

すべての競技は遅滞なく実施し、審判員は遅滞の原因が競技者にある次のような場合には、スローボウリングと判定する。

スローボウリングの判定は、同一シリーズ内においてのみ適用し、最初は「警告」、2 回目は「嚴重注意」、3 回目以降は、そのフレームの得点を 0 とする。

- (1) 競技者は、自分の投球順で左右の隣接するレーンが空いている場合、直ちに投球姿勢をとらなければならない。
- (2) 競技投球者は、投球の準備態勢に入ろうとしているすぐ右側レーンの競技者に対してのみ優先投球権を認めなければならない。
- (3) 競技者が 1 レーンに 1 名又は 2 名で競技する場合は、当該シフトで進行の早い競技者から、原則として 4 フレーム以上の遅れ、3 名以上で競技する場合は、2 フレーム以上の遅れがあった場合は、機械の故障等の有無を確認の後、判定する。
- (4) 競技者は、前の競技者のボールがボールラックに戻ったときから 30 秒以内にその競技者は投球しなければならない。その判定は、審判員が競技者を無作為に選考し、ストップウォッチにより、その競技者の投球時間を測定する。
- (5) 第 4 号の条文については、当分の間、指導事項とする。

第 136 条 (ボウリングボールの表面調整及び表面加工)

ボウリングボールの表面調整及び表面加工については、国際ボウリング連盟の規定に基づき、次のとおりとする。ゲーム中にボールの表面を調整及び加工した場合は、そのゲームの得点は 0 とする。

- (1) ボウリングボールの調整に使用できるポリッシュ並びにクリーナーは、国際ボウリング連盟の公式認定の物とし、ボウリングボールの表面調整は、競技が遅滞しない範囲でゲームとゲーム間で許されるが、必ず手で実施し、ボウラーズエリア内では行うことはできない。
- (2) ボウリングボールの表面加工をすることは、第 1 号で規定されたものを除き、指定された場所において、公式練習中、競技直前の練習時間中及びシフトとシフトの間は許される。
- (3) ボールの表面を調整及び加工した場合は、その表面に付着物があってはならない。

第 406 条 (遅刻)

競技者は、競技開始予定時間の 30 分前までに、あらかじめ定められた場所に集合し、受付を通過する。通過しない場合は、その種目は失格となる。

第 407 条 (ボウラーズエリア)

選手権競技会において競技者、観客に識別できるようボウラーズエリアを定めるものとする。

- 2 各団体において、ボウラーズエリアに入ることのできるのには監督又はコーチのいずれか 1 名とする。ただし、各選手権競技会において別の定めがある場合、この限りではない。
- 3 ボウラーズエリアに入ることのできる範囲は、自チームの競技しているボウラーズエリア内とする。

第 410 条 (使用ボール)

選手権競技会に使用するボールは、次の各号に基づいて使用するものとする。

- (1) 選手権競技会に出場する者の使用ボールは、すべて国際ボウリング連盟公式認定ボール又はこの法人の公式認定ボールで認証検査に合格したものであること。また、常にこの法人規定の「ボール検査合格証」を携帯していなければならない。
- (2) 合格したボールでも、表面にテープ、ペンキ等で目印をしたり、明らかに故意にキズをつけた場合は、失格とする。
- (3) ボールの表面調整及び表面加工については、競技規程第 136 条を適用する。
- (4) 競技者は、大会に使用するすべてのボールを登録しなければならない。
- (5) 1991 年 1 月 1 日以降に製造されたボールのみ使用が認められる。
- (6) 上記のほか、競技規程第 135 条を適用する。

第 418 条 (競技者の服装)

選手権競技会に参加する競技者の服装は、競技規程第 137 条及びこの法人の服装規則を遵守すること。

第 419 条 (競技中の飲食、喫煙)

競技中の飲食、喫煙は一切禁止する。ただし、アルコールを含まない飲料をボウラーズエリア以外の指定された場所で飲むことは許される。

また、競技者はボウラーズエリアをみだりに離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず審判員に申し出て承認を得なければならない。

※ その他は、すべてこの法人の競技規則を適用する。

【注 意 事 項】

※ 競技会及び選手権大会の競技中 2 個以上のボールを使用する場合は、次のことを厳守して下さい。

- (イ) 競技中、特別の指示がある場合を除きボールラックには 1 人 1 個のボールしか置くことはできない。
- (ロ) 競技会および選手権大会では、競技開始前に主管認証部へ会場に持ち込んだ全てのボールを登録しなければならない。その際の登録料は、2 個目から 1 個につき 500 円の登録料を納めなければならない。また、5 個以上を登録する場合は、別途の料金が必要となる。
- (ハ) 競技中にボール交換のために、他の競技者に迷惑をかけたか、競技進行に支障を生じさせた場合は、スローボウリング (競技規程第 134 条) の適用を受ける場合がある。

※ 大会には、ボールの持込を 1 人 4 個以内に自粛するよう指導事項となっております。ご協力をお願いいたします。

※ 大会会場に 4 個以上持ち込んだ場合でも、競技フロアへのボールの持ち込みは 4 個以内とします。ダブルボールバッグ 2 つ、あるいはトリプルボールバッグ 1 つとシングルボールバッグ 1 つで運搬するなど、外形的にも 4 個以内であることがわかるようにしてください。

競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。

※ ハイゲーム、ハイシリーズ賞とも同点の場合は、該当者全員を表彰します。(選手権競技会規程第 414 条)

全日本シニア選手権大会出場回数
選手出場回数表彰者名簿
(第1回～第56回大会出場者)

25回出場 (1名)

岩井 親孝 (富山)

20回出場 (6名)

阿部 清 (埼玉)	前田 良一 (石川)	大森八重子 (愛知)
上田 紀代 (京都)	播本 雄輔 (京都)	藪内 賢一 (兵庫)

15回出場 (17名)

三嶋 正志 (神奈川)	三森 秀人 (神奈川)	大丸谷智子 (石川)
加藤 剛重 (静岡)	五島 利夫 (愛知)	鈴木 隆博 (三重)
柳川 穂波 (三重)	篠田ひろみ (京都)	西村 正 (京都)
濱田 常男 (大阪)	林殿 明代 (大阪)	吉田智恵美 (大阪)
吉田 勝 (大阪)	平田千鶴子 (岡山)	神下 克己 (徳島)
高木 和夫 (愛媛)	本田 博次 (長崎)	

10回出場 (23名)

笹森 武雄 (北海道)	千葉 信夫 (埼玉)	高橋 尚代 (東京)
田倉 稔 (東京)	田沼 真人 (東京)	松尾 邦俊 (東京)
関川 譲治 (神奈川)	村上 知子 (神奈川)	柳澤 有良 (長野)
池谷小枝子 (長野)	堂脇 浅行 (福井)	馬島 義和 (静岡)
田中 亨 (愛知)	三村 哲司 (愛知)	淀川 清登 (愛知)
澤田 英子 (三重)	松田八重子 (三重)	森下 潤 (京都)
林田 栄三 (島根)	松田 弘之 (広島)	美濃部留美子 (高知)
四宮 和裕 (福岡)	津崎ひろみ (熊本)	

第57回全日本シニアボウリング選手権大会
最高年齢者特別表彰

男子	玉岡 武雄 (愛媛県)	92歳
女子	上田 紀代 (京都府)	88歳

第57回全日本シニア選手権大会 参加者数

No.	連盟名	監督名	区分	男子		女子		合計	マスターズ		合計	総合計
				シニア	Hシニア	シニア	Hシニア		男子	女子		
01	北海道	高橋 恵美子	専任	4	5	0	2	11	3	3	6	17
02	青森県	鳥谷部エイ子	兼任	0	1	0	1	2	0	0	0	2
03	岩手県	下田 栄彦	兼任	1	2	0	0	3	0	0	0	3
04	宮城県	佐藤 宣達	兼任	0	2	2	0	4	3	1	4	8
05	秋田県	不参加		0	0	0	0	0	0	0	0	0
06	山形県	不参加		0	0	0	0	0	0	0	0	0
07	福島県	鈴木 英子	兼任	4	6	4	0	14	0	0	0	14
08	茨城県	檜垣 智美	兼任	3	0	3	0	6	0	0	0	6
09	栃木県	山本 耕平	兼任	3	3	0	2	8	0	0	0	8
10	群馬県	鎌田 政善	兼任	6	4	2	4	16	0	0	0	16
11	埼玉県	金子 正春	兼任	8	11	2	5	26	3	0	3	29
12	千葉県	谷川 有司	兼任	8	6	2	0	16	1	1	2	18
13	東京都	高橋 尚代	兼任	16	16	12	4	48	4	1	5	53
14	神奈川県	後藤 努	兼任	16	16	6	4	42	5	0	5	47
15	山梨県	沖村 孝	兼任	2	2	2	0	6	1	0	1	7
16	新潟県	広川 勝義	兼任	2	2	2	0	6	0	1	1	7
17	長野県	両角 英樹	兼任	4	2	0	3	9	0	0	0	9
18	富山県	境 明	兼任	18	4	2	0	24	0	0	0	24
19	石川県	渡辺 正広	兼任	8	12	4	2	26	1	2	3	29
20	福井県	今村佳代子	兼任	0	2	2	0	4	0	0	0	4
21	静岡県	山西 利明	兼任	2	12	2	4	20	5	2	7	27
23	三重県	佐々木秀明	兼任	12	6	4	5	27	3	2	5	32
24	岐阜県	森田 茂樹	兼任	6	0	2	0	8	0	0	0	8
25	滋賀県	依藤 章	兼任	4	2	2	2	10	0	0	0	10
26	京都府	芦田 利行	兼任	18	10	6	6	40	6	4	10	50
27	大阪府	濱田 常男	兼任	10	6	2	4	22	1	1	2	24
28	兵庫県	富田 進	兼任	5	6	1	2	14	3	1	4	18
29	奈良県	渡辺 辰男	兼任	0	1	1	0	2	0	0	0	2
30	和歌山県	大浦 正美	兼任	6	2	6	2	16	0	0	0	16
31	鳥取県	柳原 寿史	兼任	4	2	0	2	8	0	0	0	8
32	島根県	林田 尚恵	兼任	0	0	0	1	1	0	0	0	1
33	岡山県	大曾根謹介	兼任	5	10	6	4	25	1	1	2	27
34	広島県	石井 浩次	兼任	6	6	2	4	18	2	1	3	21
35	山口県	江藤 学	兼任	0	1	0	2	3	1	0	1	4
36	香川県	西谷 健一	兼任	5	2	3	0	10	1	0	1	11
37	徳島県	坂本 政武	兼任	0	2	1	2	5	1	0	1	6
38	愛媛県	武知 孝昌	兼任	4	4	1	1	10	2	1	3	13
39	高知県	近藤 浩一	専任	5	5	8	4	22	0	0	0	22
40	福岡県	大賀 保文	兼任	4	3	8	0	15	2	2	4	19
41	佐賀県	溝口 博久	兼任	0	1	0	0	1	0	3	3	4
42	長崎県	辻 貴司	兼任	2	9	2	2	15	2	2	4	19
43	熊本県	吉本 隆夫	兼任	2	3	5	4	14	1	1	2	16
44	大分県	太田 裕規	兼任	1	2	1	2	6	2	1	3	9
45	宮崎県	原口 宏史	兼任	0	2	0	1	3	0	0	0	3
46	鹿児島県	不参加		0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	沖縄県	砂川 弘樹	兼任	3	2	2	0	7	1	0	1	8
22	愛知県	小島 真	専任	36	14	14	4	68	5	2	7	75
合 計				243	209	124	85	661	60	33	93	754

参加者名簿

北海道

大場 泰夫	村瀬 規彦	似内 和彦	笠井 泰詔	高橋 俊幸
滝本 宗彦	奥寺 重六	増野 一教	黒畑 幸作	稲田 武史
笹森 武雄	井川 二郎	笠井 和恵	谷本 則子	寺口 エミ子
井川 静江	古賀 サトコ			

青森県

成田 公教	鳥谷部 エイ子
-------	---------

岩手県

下田 栄彦	五十嵐 和憲	吉田 勝弘
-------	--------	-------

宮城県

小野寺 昌伸	佐藤 宣達	佐藤 節夫	熊谷 芳行	尾野 豊春
吉田 千佳子	佐藤 久美子	澤田 順子		

福島県

広野 富明	佐藤 博明	猪狩 清己	平塚 利行	佐々木 利明
遠藤 邦夫	佐野 恭一郎	中田 明	伏見 正人	浅賀 一之
松本 広美	鈴木 英子	猪狩 恵美子	宗像 博子	

茨城県

浅野 明弘	長南 光男	荒川 大	川島 ゆりこ	綿引 陽子
檜垣 智美				

栃木県

浅野 純	小滝 泰昭	沼崎 則之	飯田 秀文	高橋 清
山本 耕平	湯本 友子	伊東 千枝子		

群馬県

福島 義典	中村 敬一	佐藤 敏明	佐藤 則明	今井 中
中澤 俊樹	井上 誠二	鎌田 政善	齊藤 操	金井 正夫
森田 里子	佐藤 加代子	中尾 了子	剣持 京子	鎌田 寄仁
黒澤 久美				

埼玉県

大竹 祥一	山口 好宏	関根 誠	野末 喜弘	井上 卓也
寺田 一保	秋山 忠明	吉田 聖司	後藤 光司	千葉 信夫
糸賀 祥雄	金子 正春	寺村 進	中野 正	高橋 稔
小林 秀光	吉川 弘晃	上山 正	長沢 弘志	小畑 幸二
阿部 清	鈴木 光弼	岩田 直美	吉田 由美子	滝沢 靖子
唐津 美佐子	植竹 貞子	西井 美由紀	木村 優子	

千葉県

増田 一義	谷川 有司	小林 隆広	向谷 充典	堀田 直史
高橋 正巳	吉野 裕二	了舟 樹美寿	大網 松夫	前田 長一
浅田 俊夫	野澤 俊之	小澤 常男	西林 康憲	山口 五郎
高橋 明恵	了舟 さゆり	木村 隆子		

東京都

石田 隆	中島 正美	橘内 宣宏	宿谷 政文	袖之 昭
大塚 鷹美	中山 健一	岡田 広行	渡辺 宰士	池田 伸二
荒 真一	桑山 敦	長谷川 博	近藤 等	青木 伸顕
入澤 弘	猪野 幹夫	竹本 憲司	松原 聡	富山 幸雄
吉永 哲哉	高橋 清一	佐藤 一雄	山中 徹治	正木 安雄
米島 和弘	筑田 憲章	石崎 正美	松尾 邦俊	石井 憲一
武藤 慎一	安田 重雄	畑中 勝美	近藤 功	愛久沢 信雄
木村 誠	宿谷 貴子	石田 千穂	松野 琴美	井出 由紀子
高橋 尚代	熊本 美穂	伊藤 勝美	小田井 明美	荒 智子
針谷 洋子	小見瀬 典子	森野 華世	駒場 よし子	沖川 利江子
藤井 美智子	辻本 智子	北沢 千津子		

参加者名簿

神奈川県

里見 宏	川島 徹	伊藤 公人	今原 伸幸	高橋 隆
斎藤 有作	氏家 政春	吉田 紀之	西島 浩一	浅賀 祝一
若狭 達弘	川南 由起男	古舘 秀二	瀬野 和博	竹内 徹郎
加藤 寛章	小玉 眞	村上 友彦	齊藤 弘三	後藤 努
関川 譲治	緑川 久美	村上 武男	宮戸 康次	三嶋 正志
満洲 茂樹	川本 達夫	村上 悦男	土田 孝一	山岡 祥郎
水野 浩二	岩崎 正光	高橋 賢二	豊浦 健	山下 大利
片野 素允	貝谷 和秋	古舘 樹子	浅賀 恵	青木 順子
水野 みどり	村上 知子	川島 葉子	船橋 敬子	宮戸 恵子
郡司 加代子	与五沢 真喜子			

山梨県

矢田部 浩	伊藤 出	田中 豊	冲村 孝	山下 武人
氏家 正子	小野 真智子			

新潟県

中澤 富夫	広川 勝義	村山 雅信	松田 学	羽田 姫代
金子 智恵子	久我 百合子			

長野県

小池 利明	池谷 信一	両角 英樹	戸谷 一男	鈴木 昇
川上 秀樹	古旗 くに子	片倉 光子	池谷 小枝子	

富山県

扇谷 久範	古本 彰	境 明	高原 勝	水野 峰一
叶井 廉	尾島 英俊	武田 孝史	前田 信義	立花 栄文
窪田 勉	鈴木 茂明	吉田 浩義	谷内田 智之	舘 典一
野瀬 雅弘	保田 利博	石須 剛	川原 肇一	林能 隆幸
毛利 有三	網 郁夫	山本 直美	川西 明子	

石川県

河合 昭彦	魚 雅章	岩本 清兼	塩本 靖	中川 達也
藤田 朝人	森田 正秀	中田 裕己	羽根木 一夫	田中 信一
西川 外志雄	前田 知一	渡辺 正広	東 秀雄	前田 良一
東田 達也	塚 良雄	大田 一哉	居島 進	仲島 安昭
大岩 茂	岡 里美	高野 由紀子	松谷 博美	大工 千加子
前田 恵里子	久本 安子	川畑 智子	中村 邦子	

福井県

堂脇 浅行	村上 幸一	今村 佳代子	高木 則子	
-------	-------	--------	-------	--

静岡県

高尾 正樹	吉牟田 慎司	北風 慎雄	小林 慎治	深澤 智秀
佐藤 正	高橋 豊	森岡 博彦	馬島 義和	山西 利明
西原 正	飯室 佳人	衣川 正紀	増田 直秀	杉山 憲良
平岡 義朗	加藤 剛重	板垣 幸吉	小石 敏興	大下 由香
松岡 真弓	森岡 文子	衣川 みどり	藤村 由美子	大井 弘美
板垣 愛子	加藤 栄子			

三重県

梅田 久徳	井岡 聖一	飯田 剛	黒川 陽一	佐山 天亮
稲垣 勝久	岡 宏明	田端 利昭	小林 貴司	前川 英智
長井 裕己	高木 重光	伊藤 重夫	佐々木 秀明	中村 謙
柳川 弘行	川合 孝晴	長尾 清治	栗林 隆行	澤田 賢二郎
磯部 恭万	中谷 あゆみ	新西 智子	馬場 かづ子	高木 友美
澤田 英子	柳川 穂波	吉川 朋子	山本 千鶴	松田 八重子
森脇 南海子	北川 知子			

参加者名簿

岐阜県

藪下 浩一 吉村 直人 渡辺 浩一 井上 幸人 小松 満明
 森田 茂樹 吉村 充子 筒井 美紀

滋賀県

島本 昭宏 浦部 年男 小林 幹雄 竹崎 寿征 依藤 章
 藤田 忠志 拾井 充津子 草名 恵美子 澤田 典子 中川 みち子

京都府

小堀 康司 森下 潤 長谷川 茂吉 内藤 茂 堀 泰之
 松本 雅司 梅原 秀夫 大下 義弘 木下 三起雄 福家 英樹
 横田 正一 坂本 健治 丹羽 琢史 谷川 友男 岡部 俊樹
 長谷川 清忠 井上 豊 山根 一郎 吉川 伸一 市川 正明
 藤川 潔 秋山 博之亮 山根 正弘 山川 芳弘 村上 功晃
 平重 三吉 芦田 利行 中川 貴史 播本 雄輔 長谷川 良一
 渡辺 祐博 堀 幹夫 マドレ 秀弘 高田 勇 堀尾 陽子
 山崎 多鶴 坂本 真貴子 森下 美紀 市川 真実 池田 真由美
 佐野 弘子 田中 市子 中谷 明美 森脇 眞理子 蓬萊 史恵
 奥 享子 中嶋美知子 福原 秀子 篠田 ひろみ 上田 紀代

大阪府

有賀 徹 高橋 宏治 新山 信二 村野 茂二 中野 敏明
 清田 信秀 小田 数嘉 滝 伸敬 川添 賢 東本 輝美
 吉田 勝 濱田 常男 足立 光弘 槌谷 敏 山本 恭司
 長島 則夫 松井 正信 横山 伸子 山口 知恵子 林殿 明代
 吉田 智恵美 中村 房子 堀之内 涼子 寺村 眞代

兵庫県

吉田 聡司 前川 哲 出嶋 正典 前野 勇一 道林 政広
 橋本 敏 山田 勉 仲植 広宣 福山 博明 加地 敏浩
 富田 進 松原 暉 竹内 隆司 藪内 賢一 山田 みゆき
 中上 佐代子 久米 充代 池野 康子

奈良県

渡辺 辰男 松本 君代

和歌山県

山本 満 和田 譲治 近久 弘貴 山崎 俊承 福島 正久
 柴田 浩一 大浦 正美 森口 憲二 川口 尚美 山崎 明美
 福島 佳子 高市 しずか 松村 佳美 三瀬 直子 川崎 美幸
 喜多 たか子

鳥取県

福田 智之 竹田 明則 森本 浩史 下石 直弘 新井 正雄
 柳原 寿史 宮倉 祐子 長谷 保子

島根県

林田 尚恵

岡山県

松本 一朗 猪木 信一 楠葉 正人 藤井 進介 佐藤 泰広
 長崎 達志 西田 久良 下岡 吉美 木村 堅司 大曾根 謹介
 宮武 芳美 高下 留三 奥山 新吾 堀 久之 鷹家 信男
 田中 嵩 宮武 保子 林 美也子 高下 眞由美 西山 文子
 橋之口 かおり 大井 典子 平田 千鶴子 笠原 益美 山内 千恵子
 小見山 宜子 鈴木 百合子

参加者名簿

広島県

越智 克明	難波江 康雄	井戸 寛	道下 和明	東 孝行
矢野 徹	岡野 秀幸	銚崎 浩二	松藤 信明	石井 浩次
溝口 芳明	松田 弘之	荻野 和男	林原 護	北川 洋子
大神 由美子	加藤 めぐみ	高見 ひとみ	竹本 佐知子	浜辺 津那子
岸上 和子				

山口県

上村 勇	江藤 学	三山 恵子	林 静恵
------	------	-------	------

香川県

西本 邦彦	岡田 伸二	国宗 光彰	篠原 毅	西谷 健一
木村 修久	中村 順一	和田 繁正	木村 富美子	高畑 由佳
平尾 久子				

徳島県

坂本 政武	阿部 一雄	神下 克己	星合 美香	細川 礼子
鹿山 まり子				

愛媛県

西原 真吾	今井 学	武知 孝昌	矢野 大洋	高木 和夫
由中 信安	中平 一哉	稲村 達弥	玉岡 武雄	齊藤 勝
若木 香代子	近藤 美智子	有田 綾子		

高知県

岡崎 力	村田 和穂	正木 知幸	前田 哲	池田 充
田中 伸明	柴岡 邦雄	別役 壽章	柿原 昇	北村 博信
和田 則子	池田 多世	吉村 美穂	森本 亜由美	立田 好恵
北村 令子	津野 香代	山沖 未来	美濃部 留美子	竹本 紅美子
川上 かほる	田淵 裕美			

福岡県

宮本 信吾	田村 満	堀 隆一郎	篠原 和宏	山川 誠
大賀 保文	伊達 俊幸	清水 丈夫	馬場 豊	谷口 久美子
渡邊 美和	塩津 美保子	伊達 裕子	古賀 みゆき	富永 和恵
円城寺 真由美	梶原 教子	小鶴 景子	石橋 節子	

佐賀県

溝口 博久	小野 昭恵	宮崎 由起子	山本 信子
-------	-------	--------	-------

長崎県

福田 裕健	前道 民夫	服部 良成	藤山 篤美	辻 貴司
菊川 隆行	久布白 卓	本田 博次	堀 晃	山口 正人
徳永 美晴	野口 明廣	南里 一政	菊川 曜子	菅 寛子
徳永 久美子	木村 博子	開 美恵子	松尾 美代子	

熊本県

椿原 正弘	谷 昌樹	西島 章一	吉本 隆夫	田崎 憲一
平野 俊晴	小原 ともみ	中川 晶子	椿原 とし美	平山 留美子
栗本 礼子	園田 タツコ	渡邊 景子	吉本 智佳子	津崎 ひろみ
塚本 佐代子				

大分県

安東 靖弘	脇 紀昭	太田 裕規	大貫 璋泰	辻村 孝彰
蒲池 綾子	馬場 初美	柴田 房子	木村 正子	

宮崎県

水間 盛二	原口 宏史	水間 詩子
-------	-------	-------

沖縄県

砂川 弘樹	嘉陽田 朝秀	佐藤 吾一郎	前田盛 淳	石井 清美
金城 徳光	大底 京子	具志 則子		

参加者名簿

愛知県

小林 浩
 赤井 克守
 中野 伸彦
 夏目 佳功
 清家 剛
 近藤 克生
 桑原 浩彰
 高村 弘幸
 小坂 達也
 栗田 賢一
 高須 覚
 鈴木 のり子
 桐生 由紀子
 久ヶ澤 恵子
 大野 和恵

松岡 富綱
 川口 浩樹
 三村 哲司
 椎野 秀樹
 春木 研二
 岡田 邦光
 今奈良 誠治
 本多 悟
 北方 淳幸
 小林 義尚
 鈴木 千恵彦
 中西 晴子
 花井 千久佐
 近藤 まゆみ
 森井 裕子

山本 一俊
 吉田 豊
 酒井 孝司
 加田 靖博
 三浦 浩
 川島 忠弘
 中島 淳二
 榎本 泰和
 鷹羽 孝
 藤原 隆
 水谷 恒夫
 早川 美加
 春木 真紀
 山崎 喜代美
 原田 一美

吉田 幸司
 徳永 幸一
 小幡 章夫
 手島 登
 白羽 俊之
 黒柳 智人
 桐生 広司
 西山 邦雄
 渡辺 覚
 岡本 茂幸
 岩月 文彦
 今井 佳子
 森 咲江
 佐藤 徳子
 高本 正子

園田 陽久
 横山 智
 山内 博之
 一佛 朋亮
 辻野 真一
 井田 健児
 赤尾 昇一
 淀川 清登
 旭 賢司
 大山 秋夫
 牧野 光男
 中野 順子
 佐伯 典代
 西村 沙池子
 大森 八重子

栄光の記録

【第1回大会】 1969年3月1日～2日

会場：東京・東京タワーボウリングセンター

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
優勝	折笠博三(青森) 2,142	高木幸男(福岡) 2,283	渡辺明子(福岡) 2,049

【第2回大会】 1969年8月23日～24日

会場：北海道・札幌タワーボウル

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
優勝	折笠博三(青森) 2,167	中上秀雄(愛知) 2,212	渡辺明子(福岡) 2,107

【第3回大会】 1971年2月13日～14日

会場：長崎・ナガサキエースレーン

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
優勝	折笠博三(青森) 2,144	佐々木政美(兵庫) 2,193	上野寿美江(千葉) 2,091

【第4回大会】 1971年8月21日～22日

会場：愛知・南大丸ボウリングセンター

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
選手権者	中村一雄(滋賀) 2,138	今津勇(山口) 2,190	堀川起志子(大阪) 2,053
2人チーム	愛知 有木 斎藤 1,037	東京 志村 黒田 1,120	沖縄 縄 頼地 時本 1,000
個人	宮崎卯一郎(東京) 1,103	山下秀夫(奈良) 1,163	時本房子(沖縄) 1,037

【第5回大会】 1972年8月5日～6日

会場：長野・長野オークラブボウル

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
選手権者	高岡勝利(大阪) 2,185	田中繁雄(東京) 2,364	堀川起志子(大阪) 2,170
2人チーム	東京 久保 稲田 1,198	山梨 大石 大森 1,175	北海道 相浦 柏崎 1,041
個人	井上実(大阪) 1,139	森川路夫(兵庫) 1,153	原尚子(熊本) 1,155

【第6回大会】 1973年9月8日～9日

会場：兵庫・阪神甲子園ボウル

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
選手権者	沢田猛(東京) 2,303	広田茂全(奈良) 2,365	林田トシ子(福岡) 2,161
2人チーム	熊本 松浦 中原 1,146	兵庫 森川 橋本 1,221	福岡 林田 宮崎 1,185
個人	安田訓章(岡山) 1,160	広田茂全(奈良) 1,251	尾崎チエ(埼玉) 1,094

【第7回大会】 1974年9月20日～22日

会場：京都・京都スターレーン

	オールドシニア(55歳～)	ヤングシニア(45～54歳)	レディスシニア(45歳～)
選手権者	日高久次郎(福岡) 2,295	縄田瀬(福岡) 2,248	福岡美栄子(兵庫) 2,017
2人チーム	福岡 大塚 元永 1,196	徳島 荒川 森 1,187	京都 西沢 鈴木 1,018
個人	日高久次郎(福岡) 1,196	J. Andrey (兵庫) 1,252	山縣記代子(福岡) 1,048

【第8回大会】 1975年9月13日～15日

会場：石川・金沢ジャンボボール

	シニア	ハイシニア	女子
選手権者	宇佐美茂喜(福岡) 2,318	池上二郎(神奈川) 2,197	中川清子(大阪) 2,179
2人チーム	愛知 上南木 斎藤 1,196	福岡 宮崎 松永 1,137	東京 助川 名古屋 1,063
個人	宇佐美茂喜(福岡) 1,223	米田富春(大阪) 1,113	中川清子(大阪) 1,103

【第9回大会】 1976年9月17日～19日

会場：徳島・スエヒロプラザボウル

	シニア	ハイシニア	女子
選手権者	光永孝雄(愛知) 2,348	米倉由雄(千葉) 2,299	岡崎菊子(北海道) 2,080
2人チーム	東京 佐野 小森 1,259	兵庫 川上 浦田 1,073	新潟 湯 藤巻 星 1,021
個人	杉本秀夫(京都) 1,178	米倉由雄(千葉) 1,175	荒井峯子(福岡) 1,080

栄光の記録

【第10回大会】 1977年9月15日～17日

会場：福岡・北九州ボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	今津 勇(山口)	2,315	浦田 育彦(兵庫)	2,136	中村 節子(長崎)	2,146
2人チーム	大阪 島田村	1,192	大阪 松本 一之瀬	1,113	北海道 岡崎 多比良	1,057
個人	今富 道夫(大分)	1,221	大塚 忠司(福岡)	1,096	中村 節子(長崎)	1,113

【第11回大会】 1978年9月15日～17日

参加：334名

会場：青森・古牧ボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	甲賀 芳雄(北海道)	2,293	木村 伊佐武(兵庫)	2,154	古沢 桂子(東京)	2,110
2人チーム	大阪 辰己 永沢	1,145	北海道 多比良 佐藤	1,148	大阪 竹田 村上	1,064
個人	甲賀 芳雄(北海道)	1,207	木村 伊佐武(兵庫)	1,085	古沢 桂子(東京)	1,079

【第12回大会】 1979年9月14日～16日

参加：474名

会場：兵庫・福山ボウル尼崎

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	清水 等(山口)	3,076	元永 義尋(福岡)	2,922	山田 梅代(山口)	2,829
2人チーム	福岡 中野 堀江	2,363	福岡 宮崎 元永	2,155	福岡 石井 渡辺	2,165
個人	清水 等(山口)	1,367	元永 義尋(福岡)	1,217	秋山 善子(沖縄)	1,159

【第13回大会】 1980年9月13日～15日

参加：528名

会場：京都・しょうざんボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	松田 勇(東京)	2,985	田中 雅英(京都)	3,037	後藤 千鶴子(大阪)	2,711
2人チーム	東京 松田 小森	2,313	大阪 松本 米田	2,340	京都 島内 西沢	2,124
個人	松井 昭三(東京)	1,257	田中 雅英(京都)	1,161	渡辺 明子(福岡)	1,115

【第14回大会】 1981年9月12日～15日

参加：394名

会場：沖縄・沖縄国際ボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	見角 竜男(石川)	2,884	田中 雅英(京都)	2,851	西沢 すみ子(京都)	2,684
2人チーム	長崎 岡村 和田	2,285	京都 田中 鈴木	2,138	沖縄 秋山 屋嘉比	2,096
個人	見角 竜男(石川)	1,226	田中 雅英(京都)	1,125	西沢 すみ子(京都)	1,040

【第15回大会】 1982年9月10日～12日

参加：532名

会場：大阪・福山ボウル大阪

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	玉岡 武雄(愛媛)	2,899	田中 雅英(京都)	2,848	川俣 とし子(神奈川)	2,619
2人チーム	福岡 吉岡 中野	2,313	大阪 島田 松本	2,389	北海道 多比良 岡崎	2,068
個人	石川 正博(大阪)	1,278	大林 吉一(山口)	1,163	小池 五月(静岡)	1,071

【第16回大会】 1983年10月21日～23日

参加：401名

会場：石川・金沢ジャンボボール

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	新保 外喜雄(石川)	3,031	田中 雅英(京都)	3,109	佐渡山 初子(沖縄)	2,863
2人チーム	石川 高名 見角	2,385	京都 戸田 田中	2,374	京都 島内 中沢	2,290
個人	京極 功(兵庫)	1,275	田中 雅英(京都)	1,237	岩本 マサヨ(山口)	1,127

栄光の記録

【第17回大会】 1984年10月19日～21日

参加：445名

会場：福岡・香椎スポーツガーデン

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	片原定夫(福岡)	2,963	田中雅英(京都)	2,902	水上正子(福岡)	2,789
2人チーム	大分 岩崎 末永	2,328	京都 戸田 田中	2,274	福岡 水上 林田	2,283
個人	片原定夫(福岡)	1,379	伊藤清正(香川)	1,115	島袋富子(沖縄)	1,216

【第18回大会】 1985年9月21日～23日

参加：345名

会場：北海道・札幌サンコーボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	神長三郎(神奈川)	2,971	荒木朝次郎(東京)	2,943	岸本秀子(沖縄)	2,826
2人チーム	岡山 西平 原田	2,384	京都 戸田 田中	2,351	東京 関 名古屋	2,268
個人	神長三郎(神奈川)	1,229	滝野栄一(神奈川)	1,220	岸本秀子(沖縄)	1,167

【第19回大会】 1986年10月17日～19日

参加：441名

会場：東京・ハタスポーツプラザ

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	大池伴好(東京)	3,249	荒木朝次郎(東京)	3,103	村上ヒデ子(大阪)	2,931
2人チーム	福岡 有田 山本	2,499	大阪 松本 清水	2,335	福岡 林田 荒井	2,300
個人	大池伴好(東京)	1,345	荒木朝次郎(東京)	1,294	村上ヒデ子(大阪)	1,153

【第20回大会】 1987年10月18日～20日

参加：390名

会場：愛媛・キスケボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	山本憲一(福岡)	3,006	田中雅英(京都)	3,005	田中けい(福岡)	2,977
2人チーム	静岡 望月 鈴木	2,436	福岡 中野 国武	2,338	福岡 水上 田中	2,300
個人	山本憲一(福岡)	1,257	桑江良雄(沖縄)	1,244	武内チヅ子(兵庫)	1,267

【第21回大会】 1988年10月21日～23日

参加：483名

会場：神奈川・磯子ミリオンボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	平川 晃(福岡)	2,947	桑江良雄(沖縄)	2,888	坂本敏子(石川)	2,901
2人チーム	静岡 藤田 本多	2,353	沖縄 桑江 金城	2,326	神奈川 ベビデス 大久保	2,191
個人	鈴木敏夫(神奈川)	1,193	安藤元宏(福岡)	1,130	坂本敏子(石川)	1,154

【第22回大会】 1989年10月13日～15日

参加：525名

会場：京都・京都スターレーン

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	平川 晃(福岡)	3,129	中村昭夫(山口)	2,947	林田トシ子(福岡)	2,878
2人チーム	福岡 林 平川	2,404	京都 酒井 吉田	2,415	福岡 水上 田中	2,316
個人	平川 晃(福岡)	1,285	杉本秀夫(京都)	1,215	岡迫敏子(島根)	1,174

【第23回大会】 1990年10月19日～20日

参加：635名

会場：東京・品川プリンスホテルボウリングセンター

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	平川 晃(福岡)	3,120	村島輝男(徳島)	2,959	青木鈴枝(東京)	2,980
2人チーム	兵庫 林 松原	2,484	長崎 中山 富永	2,362	東京 青木 岩上	2,233
個人	大池伴好(東京)	1,295	藪永 勇(三重)	1,195	坂本敏子(石川)	1,154
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	田中雅英(京都)	2,329	岸本秀子(沖縄)	1,909		

栄光の記録

【第24回大会】 1991年10月11日～13日

参加：485名

会場：福岡・スポーツガーデン香椎

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	黒川 義人 (広島)	3,011	吉岡 慎治 (福岡)	3,079	林田トシ子 (福岡)	2,897
2人チーム	兵 庫 林 松原	2,408	福 岡 吉岡 久保	2,320	東 京 大原 助川	2,223
個人	林 茂 (山口)	1,235	藪 永 勇 (三重)	1,232	元 井みゆき (愛知)	1,212
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	米 倉 由 雄 (千葉)	2,205	大久保ひで (神奈川)	1,958		

【第25回大会】 1992年10月23日～25日

参加：593名

会場：兵庫・グラウンド六甲ボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	川 畑 照 雄 (石川)	3,125	中 村 昭 生 (山口)	2,894	元 井みゆき (愛知)	3,024
2人チーム	福 岡 山本 大平	2,437	岡 山 西平 原田	2,381	北 海 道 齊藤 高橋	2,297
個人	川 畑 照 雄 (石川)	1,253	岡 野 健 一 (福岡)	1,241	林 田トシ子 (福岡)	1,259
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	久 保 正 一 (東京)	2,321	楠 原 夏 子 (東京)	2,024		

【第26回大会】 1993年10月29日～31日

参加：478名

会場：山形・山形ファミリーボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	友 広 徹 也 (奈良)	3,056	小 佐 野 慎 吾 (千葉)	2,909	田 中 け い (福岡)	2,853
2人チーム	埼 玉 内山 立原	2,497	東 京 青島 加藤	2,428	神 奈 川 細谷 志賀	2,242
個人	田 中 重 弘 (大阪)	1,282	小 佐 野 慎 吾 (千葉)	1,191	粒 崎 輝 子 (長崎)	1,148
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	貞 久 芳 夫 (広島)	2,277	大久保ひで (神奈川)	2,072		

【第27回大会】 1994年10月21日～23日

参加：550名

会場：福岡・博多スターレーン

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	平 川 晃 (福岡)	3,164	原 田 忠 彦 (福岡)	3,067	小 川 み どり (福岡)	3,012
2人チーム	京 都 木村 中野	2,606	岡 山 西平 山本	2,422	兵 庫 原 嶋田	2,388
個人	野 口 眞 次 (神奈川)	1,293	浅 田 驥 一 (福岡)	1,249	小 川 み どり (福岡)	1,217
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	桑 江 良 雄 (沖縄)	2,298	大久保ひで (神奈川)	2,093		

【第28回大会】 1995年10月27日～29日

参加：613名

会場：東京・品川プリンスホテルボーリングセンター

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	高 橋 俊 博 (静岡)	3,142	平 野 勝 秋 (千葉)	3,053	木 下 涼 子 (東京)	2,894
2人チーム	福 岡 古賀 井上	2,414	神 奈 川 小林 箭野	2,467	埼 玉 大久保 笹本	2,244
個人	立 原 明 (埼玉)	1,267	安 藤 元 宏 (福岡)	1,239	田 中 綾 子 (福岡)	1,208
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	清 水 寿 栄 男 (大阪)	2,326	村 上 ヒ デ 子 (大阪)	2,110		

【第29回大会】 1996年10月18日～20日

参加：588名

会場：福島・ダイヤモンドボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	柴 村 悦 夫 (大阪)	3,290	山 本 憲 一 (福岡)	3,181	伊 藤 た づ 子 (三重)	2,921
2人チーム	兵 庫 渡辺 前田	2,438	福 岡 山本 国武	2,334	三 重 伊藤 島	2,279
個人	石 橋 正 臣 (岡山)	1,314	山 本 憲 一 (福岡)	1,286	青 木 鈴 枝 (東京)	1,207
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	渋 田 登 士 夫 (福岡)	2,312	柳 田 君 子 (福島)	1,968		

栄光の記録

【第30回大会】 1997年10月24日～26日

参加：553名

会場：福岡・スポーツガーデン香椎

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	大平隆二(福岡)	3,224	林孝昭(兵庫)	3,128	浅井敦子(福岡)	2,906
2人チーム	大阪三代柴村	2,638	長崎宮脇富永	2,408	大阪高谷岩本	2,239
個人	長田孝夫(山梨)	1,341	林孝昭(兵庫)	1,300	小川みどり(福岡)	1,204
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	井関文和(長崎)	2,299	村上ヒデ子(大阪)	2,165		

【第31回大会】 1998年10月23日～25日

参加：639名

会場：愛知・星ヶ丘ボウル

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	佐々木正尚(埼玉)	3,126	坂口明美(福岡)	3,195	奥田禮子(愛知)	2,977
2人チーム	大阪三代西田	2,500	福岡坂口平川	2,683	兵庫原嶋田	2,295
個人	吉金清文(愛知)	1,318	吉村和幸(福岡)	1,301	吉村光子(福岡)	1,236
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	大西実(愛媛)	2,327	浅岡信恵(広島)	2,077		

【第32回大会】 1999年10月29日～31日

参加：595名

会場：大阪・ボウルメート京橋

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	澤村正勝(京都)	3,390	森下義雄(大阪)	3,244	高谷満枝(大阪)	2,991
2人チーム	京都前田澤村	2,692	大阪田中南	2,544	福岡水上荒木	2,390
個人	白倉光雄(山梨)	1,399	佐藤勝人(福岡)	1,290	高谷満枝(大阪)	1,289
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	清水寿栄男(大阪)	2,338	村上ヒデ子(大阪)	2,084		

【第33回大会】 2000年10月27日～29日

参加：553名

会場：福岡・スポーツガーデン香椎

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	丸尾豊(東京)	3,157	神谷保広(愛知)	3,112	和田すま子(東京)	3,040
2人チーム	広島吉田豎本	2,548	熊本松山東	2,490	東京原田吉田	2,312
個人	西田安男(大阪)	1,287	松本博志(愛知)	1,329	茶谷晴美(大阪)	1,270
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	長倉泰郎(宮崎)	2,205	浅岡信恵(広島)	2,042		

【第34回大会】 2001年10月26日～28日

参加：587名

会場：長野・ヤングファラオ

	シニア		ハイシニア		女子	
選手権者	佐々木正尚(埼玉)	3,046	幸林周逸(青森)	3,202	水上正子(福岡)	3,138
2人チーム	東京田中富山	2,580	香川中村渡辺	2,555	福岡水上荒木	2,291
個人	山村普(神奈川)	1,449	長田孝夫(山梨)	1,293	水上正子(福岡)	1,242
	男子マスターズシニア		女子マスターズシニア			
優勝	横尾健一(広島)	2,220	篠田美子(山梨)	2,123		

栄光の記録

【第35回大会】 2002年10月18日～20日

参加：563名 会場：神奈川・新横浜プリンスホテルボウリングセンター、新杉田ボウル

男子シニア		
選手権者	松原美智雄(群馬)	3,321
2人チーム	群馬 松原 喜多	2,720
個人	幸田広保(愛媛)	1,344
女子シニア		
選手権者	鈴木春美(東京)	3,080
2人チーム	広島 竹本 沖	2,419
個人	鈴木春美(東京)	1,210
男子マスターズシニア		
優勝	宮脇徳男(長崎)	2,406

男子ハイシニア		
選手権者	幸林周逸(青森)	3,336
2人チーム	神奈川 野口 小菅	2,675
個人	幸林周逸(青森)	1,353
女子ハイシニア		
選手権者	石戸志津子(千葉)	2,807
2人チーム	千葉 浅田 石戸	2,236
個人	原章代(兵庫)	1,180
女子マスターズシニア		
優勝	伊藤たづ子(三重)	2,128

【第36回大会】 2003年10月24日～26日

参加：610名 会場：福岡・博多スターレーン、サンアローボウル

男子シニア		
選手権者	山村 普(神奈川)	3,258
2人チーム	神奈川 影山 山村	2,569
個人	松下信哉(熊本)	1,324
女子シニア		
選手権者	高本正子(愛知)	3,159
2人チーム	東京 杉田 和田	2,404
個人	板倉朱実(愛知)	1,261
男子マスターズシニア		
優勝	黒石哲夫(山口)	2,435

男子ハイシニア		
選手権者	高橋賢二(神奈川)	3,151
2人チーム	兵庫 川崎 松原	2,507
個人	佐藤道雄(愛知)	1,329
女子ハイシニア		
選手権者	石戸志津子(千葉)	2,909
2人チーム	宮崎 井園 上田	2,228
個人	石戸志津子(千葉)	1,220
女子マスターズシニア		
優勝	水上正子(福岡)	2,382

【第37回大会】 2004年10月22日～24日

参加：588名 会場：兵庫・神戸六甲ボウル

男子シニア		
選手権者	村上 健(石川)	3,465
2人チーム	大阪 松岡 西田	2,888
個人	丸尾 豊(東京)	1,489
女子シニア		
選手権者	和田すま子(東京)	3,040
2人チーム	埼玉 滝沢 唐津	2,493
個人	茶谷晴美(大阪)	1,269
男子マスターズシニア		
優勝	宮脇徳男(長崎)	2,427

男子ハイシニア		
選手権者	平川 晃(福岡)	3,438
2人チーム	青森 幸林 佐々木	2,649
個人	幸林周逸(青森)	1,348
女子ハイシニア		
選手権者	高橋ユキ子(埼玉)	2,948
2人チーム	千葉 石戸 浅田	2,380
個人	高橋ユキ子(埼玉)	1,144
女子マスターズシニア		
優勝	水上正子(福岡)	2,238

【第38回大会】 2005年7月1日～3日

参加：597名 会場：東京・品川プリンスホテルボウリングセンター

男子シニア		
選手権者	石島 哲也(静岡)	3,312
2人チーム	静岡 小林 石島	2,655
個人	石島 哲也(静岡)	1,378
女子シニア		
選手権者	高本正子(愛知)	2,950
2人チーム	愛知 板倉 高本	2,344
個人	高本正子(愛知)	1,230
男子マスターズシニア		
優勝	小佐野慎吾(千葉)	2,500

男子ハイシニア		
選手権者	田中義徳(北海道)	3,360
2人チーム	青森 幸林 佐々木	2,693
個人	岩井親孝(富山)	1,387
女子ハイシニア		
選手権者	有田愛子(静岡)	2,916
2人チーム	兵庫 原 渡辺	2,214
個人	中村邦子(石川)	1,170
女子マスターズシニア		
優勝	水上正子(福岡)	2,262

栄光の記録

【第39回大会】 2006年7月7日～9日

参加：621名

会場：福岡・博多スターレーン、サンアローボウル

男子シニア		
選手権者	西田安男(大阪)	3,393
2人チーム	東京丸尾成海	2,676
個人	西田安男(大阪)	1,400
女子シニア		
選手権者	唐津美佐子(埼玉)	3,052
2人チーム	愛知加藤森井	2,525
個人	唐津美佐子(埼玉)	1,219
男子マスターズシニア		
優勝	幸林周逸(青森)	2,335

男子ハイシニア		
選手権者	本永昌史(愛知)	3,172
2人チーム	熊本松山鈴木	2,508
個人	倉橋敏夫(千葉)	1,302
女子ハイシニア		
選手権者	寺村真代(大阪)	2,965
2人チーム	千葉南井浅田	2,218
個人	平仲節子(山口)	1,216
女子マスターズシニア		
優勝	水上正子(福岡)	2,190

【第40回大会】 2007年7月6日～8日

参加：643名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	石島哲也(静岡)	3,537
2人チーム	大阪西田濱田	2,786
個人	平岡修一(京都)	1,420
女子シニア		
選手権者	中上佐代子(兵庫)	3,241
2人チーム	大阪林殿吉田	2,407
個人	久慈順子(岩手)	1,388
男子マスターズシニア		
優勝	吉井嘉昭(奈良)	2,630

男子ハイシニア		
選手権者	福岡和福(愛知)	3,429
2人チーム	愛知松木福岡	2,615
個人	丸尾豊(東京)	1,480
女子ハイシニア		
選手権者	沖崇子(広島)	2,979
2人チーム	愛知須崎浜元	2,347
個人	沖崇子(広島)	1,314
女子マスターズシニア		
優勝	木下洋子(愛媛)	2,192

【第41回大会】 2008年7月11日～13日

参加：551名

会場：東京・品川プリンスホテルボウリングセンター

男子シニア		
選手権者	富山幸雄(東京)	3,471
2人チーム	神奈川村上蒲ヶ原	2,815
個人	富山幸雄(東京)	1,446
女子シニア		
選手権者	加藤二志子(愛知)	3,356
2人チーム	岡山平田三宅	2,638
個人	吉川朋子(三重)	1,327
男子マスターズシニア		
優勝	大八木泰(岐阜)	2,503

男子ハイシニア		
選手権者	西田安男(大阪)	3,555
2人チーム	東京吉村丸尾	2,733
個人	西田安男(大阪)	1,485
女子ハイシニア		
選手権者	寺村真代(大阪)	3,133
2人チーム	大阪吉岡寺村	2,539
個人	寺村真代(大阪)	1,313
女子マスターズシニア		
優勝	岡崎俊子(広島)	2,274

【第42回大会】 2009年7月10日～12日

参加：699名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	鈴木昭(大阪)	3,408
2人チーム	福岡山川大賀	2,680
個人	鈴木昭(大阪)	1,428
女子シニア		
選手権者	平田智恵子(熊本)	3,285
2人チーム	熊本津崎平田	2,592
個人	平田智恵子(熊本)	1,284
男子マスターズシニア		
優勝	盆子原鉄夫(山口)	2,425

男子ハイシニア		
選手権者	福岡和福(愛知)	3,412
2人チーム	愛知福岡松木	2,724
個人	岩井親孝(富山)	1,471
女子ハイシニア		
選手権者	寺村真代(大阪)	2,992
2人チーム	石川大丸谷有田	2,356
個人	沖崇子(広島)	1,208
女子マスターズシニア		
優勝	小池和美(京都)	2,201

栄光の記録

【第43回大会】 2010年7月9日～11日

参加：584名

会場：福岡・博多スターレーン、パピオボウル

男子シニア		
選手権者	緒方 正 (大分)	3,260
2人チーム	大阪 今井 美濃井	2,616
個人	西村 由彦 (愛知)	1,357
女子シニア		
選手権者	平田千鶴子 (岡山)	3,070
2人チーム	島根 林田 宮倉	2,412
個人	郡司加代子 (神奈川)	1,266
男子マスターズシニア		
優勝	高田 金三 (群馬)	2,521

男子ハイシニア		
選手権者	中園 憲三 (福岡)	3,227
2人チーム	高知 別役 西村	2,518
個人	木村 堅司 (岡山)	1,396
女子ハイシニア		
選手権者	中村 邦子 (石川)	2,868
2人チーム	愛知 高本 浜元	2,335
個人	寺村 真代 (大阪)	1,193
女子マスターズシニア		
優勝	水上 正子 (福岡)	2,267

【第44回大会】 2011年7月8日～10日

参加：698名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	鈴木 昭 (大阪)	3,399
2人チーム	静岡 岡 久松 佐藤	2,664
個人	鈴木 昭 (大阪)	1,444
女子シニア		
選手権者	平田智恵子 (熊本)	3,095
2人チーム	神奈川 村上 郡司	2,361
個人	星野真由美 (岐阜)	1,328
男子マスターズシニア		
優勝	青柳 州泰 (埼玉)	2,629

男子ハイシニア		
選手権者	野沢 俊之 (千葉)	3,406
2人チーム	大阪 西田 濱田	2,706
個人	古川 正人 (千葉)	1,463
女子ハイシニア		
選手権者	寺村 真代 (大阪)	3,050
2人チーム	大阪 吉岡 寺村	2,594
個人	吉岡 マチ子 (大阪)	1,191
女子マスターズシニア		
優勝	守田 順子 (愛媛)	2,256

【第45回大会】 2012年7月6日～8日

参加：661名

会場：大阪・イーグルボウル、桜橋ボウル

男子シニア		
選手権者	東 秀雄 (石川)	3,587
2人チーム	愛知 原 谷本	2,881
個人	東 秀雄 (石川)	1,492
女子シニア		
選手権者	林田 尚恵 (島根)	3,244
2人チーム	宮城 高橋 鈴木	2,628
個人	小林 瑞恵 (長野)	1,343
男子マスターズシニア		
優勝	神谷 保広 (愛知)	2,693

男子ハイシニア		
選手権者	濱田 常男 (大阪)	3,683
2人チーム	岡山 木村 森景	2,830
個人	濱田 常男 (大阪)	1,511
女子ハイシニア		
選手権者	田中市子 (京都)	3,228
2人チーム	北海道 寺口 大柄	2,468
個人	唐津美佐子 (埼玉)	1,340
女子マスターズシニア		
優勝	木下 洋子 (愛媛)	2,262

【第46回大会】 2013年6月28日～30日

参加：699名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	安藤 寛 (大分)	3,417
2人チーム	大分 安藤 緒方	2,752
個人	山下 充 (山梨)	1,522
女子シニア		
選手権者	高木 則子 (福井)	3,086
2人チーム	福井 今村 高木	2,439
個人	馬場 初美 (大分)	1,204
男子マスターズシニア		
優勝	大倉 寛 (三重)	2,633

男子ハイシニア		
選手権者	村上 武男 (神奈川)	3,420
2人チーム	東京 吉永 深川	2,759
個人	村上 武男 (神奈川)	1,402
女子ハイシニア		
選手権者	浜辺 津那子 (島根)	3,055
2人チーム	愛知 高本 大橋	2,472
個人	吉田 智恵美 (大阪)	1,179
女子マスターズシニア		
優勝	平仲 節子 (山口)	2,267

栄光の記録

【第47回大会】 2014年7月4日～6日

参加：541名

会場：福岡・博多スターレーン、パピオボウル

男子シニア		
選手権者	川島 徹 (神奈川)	3,477
2人チーム	和歌山 西田 山本	2,704
個人	伊藤 博 (福岡)	1,437
女子シニア		
選手権者	加藤二志子 (愛知)	3,138
2人チーム	愛知 西村 加藤	2,665
個人	吉田智恵美 (大阪)	1,388
男子マスターズシニア		
優勝	久保一吉 (愛媛)	2,378

男子ハイシニア		
選手権者	石島 哲也 (静岡)	3,456
2人チーム	兵庫 前田 瀬尾	2,642
個人	松原宏仁 (兵庫)	1,423
女子ハイシニア		
選手権者	沖 崇子 (広島)	3,132
2人チーム	広島 広川 沖	2,397
個人	沖 崇子 (広島)	1,199
女子マスターズシニア		
優勝	福原秀子 (京都)	2,157

【第48回大会】 2015年6月26日～28日

参加：671名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	藤田 忠志 (滋賀)	3,433
2人チーム	東京 森野 田倉	2,708
個人	辻田良二 (佐賀)	1,424
女子シニア		
選手権者	吉田由美子 (埼玉)	3,062
2人チーム	福井 高木 辻	2,452
個人	馬場初美 (大分)	1,360
男子マスターズシニア		
優勝	中塚良三 (群馬)	2,646

男子ハイシニア		
選手権者	野口明廣 (長崎)	3,230
2人チーム	千葉 山口 浅田	2,556
個人	浅田俊夫 (千葉)	1,332
女子ハイシニア		
選手権者	久慈順子 (岩手)	3,039
2人チーム	石川 大丸谷 中村	2,345
個人	久慈順子 (岩手)	1,194
女子マスターズシニア		
優勝	小池和美 (京都)	2,212

【第49回大会】 2016年6月24日～26日

参加：685名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	東 秀雄 (石川)	3,429
2人チーム	石川 泉 東	2,787
個人	猪野幹夫 (東京)	1,459
女子シニア		
選手権者	吉田由美子 (埼玉)	3,191
2人チーム	神奈川 太田 郡司	2,533
個人	吉田由美子 (埼玉)	1,347
男子マスターズシニア		
優勝	青柳州泰 (埼玉)	2,486

男子ハイシニア		
選手権者	小玉 眞 (神奈川)	3,405
2人チーム	兵庫 橋本 藪内	2,608
個人	松井卓治 (愛知)	1,443
女子ハイシニア		
選手権者	望月和世 (山梨)	2,984
2人チーム	石川 中村 大丸谷	2,424
個人	中 ヒロ子 (福井)	1,226
女子マスターズシニア		
優勝	小池和美 (京都)	2,125

【第50回大会】 2017年6月23日～25日

参加：713名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	大石橋一郎 (福井)	3,479
2人チーム	熊本 吉本 谷	2,770
個人	大石橋一郎 (福井)	1,389
女子シニア		
選手権者	鈴木英子 (福島)	3,083
2人チーム	新潟 齊藤 金子	2,455
個人	鈴木英子 (福島)	1,303
男子マスターズシニア		
優勝	高橋賢二 (神奈川)	2,559

男子ハイシニア		
選手権者	石島 哲也 (静岡)	3,457
2人チーム	千葉 浅田 野沢	2,606
個人	西田安夫 (大阪)	1,431
女子ハイシニア		
選手権者	沖 崇子 (広島)	3,056
2人チーム	岡山 平田 鈴木	2,441
個人	山崎勝子 (京都)	1,208
女子マスターズシニア		
優勝	木下洋子 (愛媛)	2,187

栄光の記録

【第51回大会】 2018年6月22日～24日

参加：703名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	吉本隆夫(熊本)	3,609
2人チーム	北海道 君嶋 上原	2,767
個人	吉本隆夫(熊本)	1,542
女子シニア		
選手権者	林 静恵(山口)	3,232
2人チーム	三 重 吉川 柳川	2,500
個人	吉川真弓(神奈川)	1,312
男子マスターズシニア		
優勝	神谷保広(愛知)	2,519

男子ハイシニア		
選手権者	菊川隆行(長崎)	3,405
2人チーム	大 阪 西田 濱田	2,569
個人	石島哲也(静岡)	1,402
女子ハイシニア		
選手権者	浜辺津那子(島根)	3,049
2人チーム	島 根 石原 浜辺	2,352
個人	沖 崇子(広島)	1,288
女子マスターズシニア		
優勝	中村邦子(石川)	2,183

【第52回大会】 2019年6月21日～23日

参加：705名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	吉本隆夫(熊本)	3,528
2人チーム	広 島 矢野 銚崎	2,772
個人	鳥本隆義(東京)	1,459
女子シニア		
選手権者	太田千恵(神奈川)	3,242
2人チーム	三 重 山本 柳川	2,486
個人	太田千恵(神奈川)	1,372
男子マスターズシニア		
優勝	平川 晃(福岡)	2,449

男子ハイシニア		
選手権者	浅田俊夫(千葉)	3,478
2人チーム	大 阪 松井 吉田	2,723
個人	吉永哲哉(東京)	1,466
女子ハイシニア		
選手権者	澤田英子(三重)	3,023
2人チーム	大 分 馬場 安東	2,318
個人	鳥谷部エイ子(青森)	1,232
女子マスターズシニア		
優勝	有田綾子(愛媛)	2,178

【第53回大会】 2021年1月12日～14日

参加：215名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	山中 徹治(東京)	3,390
2人チーム	神奈川 斎藤 村上	2,563
個人	川島 徹(神奈川)	1,418
女子シニア		
選手権者	吉田由美子(埼玉)	3,161
2人チーム	三 重 山本 柳川	2,607
個人	吉田由美子(埼玉)	1,307
男子マスターズシニア		
優勝	清水丈夫(福岡)	2,479

男子ハイシニア		
選手権者	木村堅司(岡山)	3,370
2人チーム	東 京 松原 富山	2,521
個人	西林康憲(千葉)	1,386
女子ハイシニア		
選手権者	伊東千枝子(栃木)	2,991
2人チーム	栃 木 伊東 湯本	2,387
個人	湯本友子(栃木)	1,240
女子マスターズシニア		
優勝	篠田ひろみ(京都)	2,099

【第54回大会】 2021年6月18日～20日

参加：406名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	梅田久徳(三重)	3,528
2人チーム	山 梨 沖村 伊藤	2,639
個人	梅田久徳(三重)	1,446
女子シニア		
選手権者	山崎多鶴(京都)	3,170
2人チーム	京 都 梅尾 山崎	2,451
個人	山崎多鶴(京都)	1,340
男子マスターズシニア		
優勝	マドレ秀弘(京都)	2,414

男子ハイシニア		
選手権者	竹内隆司(兵庫)	3,227
2人チーム	三 重 中村 伊藤	2,583
個人	菊川正行(長崎)	1,397
女子ハイシニア		
選手権者	澤田順子(宮城)	3,118
2人チーム	三 重 澤田 柳川	2,299
個人	中川みち子(滋賀)	1,308
女子マスターズシニア		
優勝	則武紀子(愛知)	2,073

栄光の記録

【第55回大会】 2022年6月17日～19日

参加：605名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	難波江康雄(広島)	3,171
2人チーム	愛知 小林 松岡	2,502
個人	藪下浩一(岐阜)	1,379
女子シニア		
選手権者	山本直美(富山)	2,902
2人チーム	広島 加藤 高見	2,242
個人	中西晴子(愛知)	1,173
男子マスターズシニア		
優勝	山口五郎(千葉)	2,406

男子ハイシニア		
選手権者	西川外志雄(石川)	3,068
2人チーム	長崎 服部 藤山	2,429
個人	西川外志雄(石川)	1,318
女子ハイシニア		
選手権者	馬場初美(大分)	2,904
2人チーム	兵庫 中上 久米	2,372
個人	馬場初美(大分)	1,188
女子マスターズシニア		
優勝	小鶴景子(福岡)	2,209

【第56回大会】 2023年6月23日～25日

参加：721名

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子シニア		
選手権者	梅田久徳(三重)	3,492
2人チーム	熊本 谷 吉本	2,746
個人	梅田久徳(三重)	1,459
女子シニア		
選手権者	森田里子(群馬)	3,160
2人チーム	京都 泉 齊ノ内	2,412
個人	若木香代子(愛媛)	1,259
男子マスターズシニア		
優勝	佐藤節夫(宮城)	2,521

男子ハイシニア		
選手権者	小玉 眞(神奈川)	3,343
2人チーム	徳島 坂本 神下	2,657
個人	村上友彦(神奈川)	1,356
女子ハイシニア		
選手権者	柳川穂波(三重)	3,057
2人チーム	三重 澤田 柳川	2,401
個人	柳川穂波(三重)	1,266
女子マスターズシニア		
優勝	小鶴景子(福岡)	2,262

第56回全日本シニアボウリング選手権大会 成績表

参加：男子シニア部門 238名、男子ハイシニア部門 200名、女子シニア部門 128名、女子ハイシニア部門 82名
 マスターズシニア部門 男子48名、女子25名 合計 721名

2022年6月23日(金)～25日(日)
 愛知・稲沢グラウンドホール

《男子シニア》(50歳～64歳)		《男子ハイシニア》(65歳～74歳)		《女子シニア》(50歳～64歳)		《女子ハイシニア》(65歳～74歳)	
* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)		* 2人チーム戦 (2×6G)	
優勝 熊本 A (谷 昌樹・吉本 隆夫)	2,746	優勝 徳島 A (坂本 政武・神下 克己)	2,657	優勝 京都 B (泉 靖子・斉ノ内 真由美)	2,412	優勝 三重 A (澤田 英子・柳川 穂波)	2,401
準優勝 三重 A (梅田 久徳・井岡 聖一)	2,678	準優勝 神奈川 D (土田 孝一・村上 武男)	2,629	準優勝 富山 A (山本 直美・川西 明子)	2,384	準優勝 大分 A (柴田 房子・馬場 初美)	2,274
第3位 東京 A (袖之 昭・山中 徹治)	2,634	第3位 大阪 A (吉田 勝・濱田 常男)	2,578	第3位 群馬 A (森田 里子・佐藤 加代子)	2,364	第3位 北海道 A (寺口 エミ子・井川 静江)	2,234
第4位 神奈川 C (瀬野 和博・川島 徹)	2,628	第4位 愛媛 A (高木 和夫・由中 権安)	2,570	第4位 東京 B (松野 琴美・森野 肇世)	2,331	第4位 京都 B (佐野 弘子・田中 市子)	2,221
第5位 石川 B (藤田 朝人・魚 雅章)	2,618	第5位 神奈川 C (三嶋 正志・小玉 真)	2,548	第5位 神奈川 A (古館 樹子・浅賀 恵)	2,326	第5位 静岡 A (森岡 文子・衣川 みどり)	2,179
第6位 山梨 A (伊藤 出・田中 豊)	2,608	第6位 三重 A (伊藤 重夫・柳川 弘行)	2,546	第6位 京都 A (梅尾 陽子・山崎 多鶴)	2,322	第6位 埼玉 A (木村 優子・唐津 美佐子)	2,173
* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)		* 個人戦 (6G)	
優勝 梅田 久徳 (三重県)	1,459	優勝 村上 友彦 (神奈川県)	1,356	優勝 若木 香代子 (愛媛県)	1,259	優勝 柳川 穂波 (三重県)	1,266
準優勝 井岡 聖一 (三重県)	1,414	準優勝 前田 良一 (石川県)	1,346	準優勝 森田 里子 (群馬県)	1,258	準優勝 浜辺 津那子 (広島県)	1,217
第3位 福埋 勝久 (三重県)	1,348	第3位 木村 堅司 (岡山県)	1,344	第3位 大井 典子 (岡山県)	1,257	第3位 中上 佐代子 (兵庫県)	1,197
第4位 中島 正美 (東京都)	1,331	第4位 藤山 篤美 (長崎県)	1,342	第4位 中川 晶子 (熊本県)	1,247	第4位 寺口 エミ子 (北海道)	1,186
第5位 中村 敬一 (群馬県)	1,329	第5位 小玉 真 (神奈川県)	1,323	第5位 谷口 久美子 (福岡県)	1,243	第5位 衣川 みどり (静岡県)	1,175
第6位 向谷 充典 (千葉県)	1,323	第6位 前田 知一 (石川県)	1,324	第6位 吉田 由美子 (埼玉県)	1,218	第6位 馬場 初美 (大分県)	1,174
* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)		* 選手権者決定戦 (15G)	
優勝 梅田 久徳 (三重県)	3,492	優勝 小玉 真 (神奈川県)	3,343	優勝 森田 里子 (群馬県)	3,160	優勝 柳川 穂波 (三重県)	3,057
準優勝 井岡 聖一 (三重県)	3,408	準優勝 前田 知一 (石川県)	3,323	準優勝 斉ノ内 真由美 (京都府)	3,062	準優勝 馬場 初美 (大分県)	2,957
第3位 難波江 康雄 (広島県)	3,325	第3位 坂本 政武 (徳島県)	3,309	第3位 若木 香代子 (愛媛県)	2,997	第3位 衣川 みどり (静岡県)	2,871
第4位 吉本 隆夫 (熊本県)	3,296	第4位 東 秀雄 (石川県)	3,283	第4位 山本 直美 (富山県)	2,997	第4位 澤田 英子 (三重県)	2,863
第5位 魚 雅章 (石川県)	3,270	第5位 市川 正明 (京都府)	3,255	第5位 金子 智恵子 (新潟県)	2,992	第5位 田中 市子 (京都府)	2,839
第6位 川島 徹 (神奈川県)	3,261	第6位 前田 良一 (石川県)	3,244	第6位 鈴木 英子 (福島県)	2,986	第6位 浜辺 津那子 (広島県)	2,830
ハイクラス	278	ハイクラス	286	ハイクラス	279	ハイクラス	258
ハイクラス	278	ハイクラス	751	ハイクラス	725	ハイクラス	676
《男子マスターズシニア》(75歳以上)		《男子マスターズシニア》(75歳以上)		《女子マスターズシニア》(75歳以上)		《女子マスターズシニア》(75歳以上)	
優勝 佐藤 節夫 (宮城県)	2,521	優勝 播本 雄輔 (京都府)	2,455	優勝 小鶴 景子 (福岡県)	2,262	優勝 大丸谷 智子 (石川県)	2,168
準優勝 山口 五郎 (千葉県)	2,507	準優勝 鈴木 光弼 (埼玉県)	2,432	準優勝 寺村 真代 (大阪府)	2,204	準優勝 中村 邦子 (石川県)	2,135
第3位 松原 美智雄 (群馬県)	2,507	第3位 鈴木 千恵彦 (愛知県)	2,342	第3位 木村 正子 (大分県)	2,189	第3位 福原 秀子 (京都府)	2,054
ハイクラス	266	ハイクラス	701	ハイクラス	241	ハイクラス	613